

本部広報2018-044

2018年12月14日

タイヤチェーンは駆動輪に装着を！ 誤った装着で登坂や旋回性能を検証

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 矢代隆義）は、雪道（圧雪路^{※1}）における「タイヤチェーンの装着の違いによる登坂・旋回性能の比較検証」を行い、その結果を12月14日（金）よりホームページに公開しました。

タイヤチェーンは駆動輪への装着が鉄則ですが、誤って駆動輪以外に装着してしまうケースがあることから、装着するタイヤの位置の違いでどのような影響を及ぼすのか、前輪駆動のテスト車^{※2}を用いて2つの実験（路面はいずれも圧雪路）を行いました。

※1 圧雪路とは、雪が踏み固められた状態の路面。

※2 タイヤチェーン（非金属タイプ）はノーマルタイヤに装着（ともに新品）。



今回のテスト車の場合、前輪（駆動輪）に装着が正しい状態（写真左）、後輪（非駆動輪）に装着は誤った状態（写真右）

■登坂テスト

勾配12%の坂道を上りきれぬのかを検証しました。

○タイヤチェーンを非駆動輪に装着した場合は、坂道を上りきれなかった！

タイヤチェーンを前輪（駆動輪）に装着した場合は、チェーンが雪面をしっかりグリップし、スリップすることなく勾配12%の坂道を上りきることができました。一方で、後輪（非駆動輪）に装着した場合は、坂道の途中でタイヤがスリップしてしまい、上りきれませんでした。



チェーンの装着位置の違いで登坂の走行可否を検証



後輪（非駆動輪）に装着した場合は、スリップしてしまっ

■旋回テスト

旋回路（R=6m）に30km/hで進入し、パイロンに沿って曲ることができるかを検証しました。

○タイヤチェーンを非駆動輪に装着した場合は、走行ラインが外側に大きく膨らんだ！

タイヤチェーンを前輪（駆動輪）に装着した場合は、ドライバーのハンドル操作に合わせて車の向きが変わり、パイロンに沿って曲ることができました。一方で、後輪（非駆動輪）に装着した場合は、ハンドルを左に切っても操舵輪である前輪が滑ってしまい、走行ラインは外側に大きく膨らんでしまいました。



チェーンの装着位置の違いで旋回性能を検証

装着が正しい状態（写真左）と比べて誤った状態（写真右）は大きく膨らんでしまっていることが分かる

■参考：ブレーキテスト

登坂と旋回テストに加え、参考までに平坦路で、40km/h から急ブレーキ※3を踏み、停止するまでの制動距離を計測器で測定しました。

※3 急ブレーキ時はABSが作動。

○チェーンの誤装着で制動距離も延びた！

前輪駆動車だと、タイヤチェーンを後輪（非駆動輪）に装着した場合は、前輪（駆動輪）に装着した場合と比べて、約7mも制動距離が延びました。

ブレーキの際は前輪に荷重がかかり、前輪の制動力が重要になるため、特に誤装着の影響が大きくなったと思われます。



ブレーキテストも参考までに検証

以上のテストから、タイヤチェーンは確実に駆動輪に装着しないと坂道を上れないだけでなく、カーブで対向車線に飛び出すなど、重大事故につながる可能性があります。

タイヤチェーンの装着位置を車の取扱説明書で確認しておくことに加え、事前に装着する練習もおきましょう。

12月10日（月）、国土交通省より「大雪時の道路交通の確保に向けた取り組みについて（チェーン規制の検討状況）」が発表されました。今までよりタイヤチェーンを使用する場面が増えることも考えられます。急な降雪の可能性もありますので、常にタイヤチェーンを車内に備えておくよう心がけましょう。

■テスト結果：JAFユーザーテスト

動画編：<http://movie.jaf.or.jp/details/225.html>

資料編：<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/userstest/snow/detail2.htm>

[練習しておきましょう。タイヤチェーンの付け方] <http://movie.jaf.or.jp/details/112.html>

▼参考

国土交通省「大雪時の道路交通の確保に向けた取り組みについて（チェーン規制の検討状況）」

<http://www.mlit.go.jp/common/001264475.pdf>

このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報部 担当：秋本

Tel：03(3578)4920 Fax：03(3578)4912

E-Mail:koho@jaf.or.jp URL: <http://www.jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館